

避難の心得

□ 「避難」とは「難」を「避」けることです

安全な場所にいる人は、指定緊急避難場所などに行く必要はありません。「自分のいのちは自分で守る」という意識のもと、皆さん一人ひとりが適切なタイミングで、安全な場所に避難してください。

□ 小中学校や公民館に行くことだけが避難ではありません

避難行動には、「在宅避難」「屋内安全確保（垂直避難）」「立ち退き避難（水平避難）」の3種類があります。安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。

□ 非常時持ち出し品・備蓄品を準備しましょう

避難所の備品には限りがあります。両手の空くりュックサックに非常持ち出し品を準備しておきましょう。また、在宅避難に備え必要な水・食料・生活用品等の備蓄や自宅周りの点検をしておくとう安心です。

□ 避難先・避難ルート・避難方法を確認しましょう

浸水に対して安全な避難先とルートを平時から家族や地域で確認しておきましょう。また、自家用車での避難は、緊急自動車の通行を妨げるとともに、交通渋滞に巻き込まれる可能性がありますので、極力控えましょう。

□ 早めの避難行動を心がけましょう

浸水してからの自宅外避難は危険です。降雨や河川水位などの情報をもとに、身の危険を感じたら避難指示を待たずに自主的に避難を開始してください。

□ ご近所に声をかけましょう

単独での避難は、思わぬ事態に合った時に危険です。避難する際は、近くの知り合いに避難を呼びかけるなど、地域の皆さんによる助け合いをお願いします。

□ 避難所での注意

災害時に開設される避難所では、不特定多数の人々が一定期間滞在することになります。大声を出したり、騒いだり他人が不快に感じるような言動は控えましょう。互いの気遣いが大切です。

❗ 災害時における避難所での感染症対策について

災害時には、感染症の拡大リスクが高まります。特に避難所では、衛生状態を保つことが大切です。飛沫感染や空気感染による感染拡大する恐れがあるため、感染症に「自分がかからない」ように手洗いを、かかっても「他人にうつさない」ために咳エチケットなどを行いましょう。